

白菜



育苗

散水時に使用する



- 根っ酵素1000倍液 → 根を強くし、生長を促進。
- 花咲くCa液1000倍 → 葉を厚くし、充実させる。

4日間隔で交互に、葉の上からタップリ散布する。

(10アール当り)

時期	方法	資材と施用法
土作り	なるべく早い時期に	<ul style="list-style-type: none"> ●ラクトバチルス600g → 深層まで通気の良い土にする。 ●堆厩肥1トン以上 ●硫安80kg (秋作の場合は100~120kg) ※もし通常の複合肥料なら、チッソ成分20~25kg。
整地時	整地・ウネ作り時に全面散布、またはウネ上に散布	<ul style="list-style-type: none"> ●畑の大将<青> 60kg ※土壌pH:6.5以上と高い場合は田畑の大将<赤>を施す。 <ul style="list-style-type: none"> ●マンジク粒状50kg → 生長促進、土壤病害(根コブ)対策。 ※もし特に速く生長させたい場合は 硫安20kgを追加する。
定植時	定植前後の灌水の時に	<ul style="list-style-type: none"> ●根っ酵素500倍液 → 初期の根張り促進、病害軽減。
初期	葉面散布	<ul style="list-style-type: none"> ●根っ酵素500倍液を葉面散布 → 根・生長を促進。 前半は特に根の力をつけることが大事。 特に生長が弱い場合、黄化病・ウィルスの時は灌水を。 原液3~10ℓを灌水。(300倍前後) ●アミノ酸液500倍を葉面散布 (チッソ補給)肥切れ時に。 ●花咲くCa液500倍 → 生育を引締め、葉の病害対策。 チッソ過多、ゴマ症、ベト・軟腐の心配な時は、カルシウムを。
追肥	通常は定植後20日~30日頃(作型・品種により調節)	<ul style="list-style-type: none"> ●硫安20~40kg
カルシウム追肥	追肥と同時に散布 結球開始までに施用	<ul style="list-style-type: none"> ●畑の大将<青> 20kg ※硫安とカルシウムを同時施用する場合は、混ぜたまま時間をおかないようにする事。 ※土壌pHがアルカリ化している場合は、田畑の大将<赤>を。
仕上げ	収穫前10日頃、 葉面散布	<ul style="list-style-type: none"> ●花咲くCa液500倍 → 葉を厚く充実させ、旨味が増し、品質が向上。

カルテック農法の特長は病気に強くなり、白菜がズッシリと重く、食感はシャキシャキとして甘みがある事。